

現代の経済

第1回 ガイダンス

目次

- はじめに
- 「現代の経済」は他にも開講あり
- メール送信時のお願い
- 授業の概要
- SDGsとは
- 学習の到達目標
- 授業の方法と特徴
- 「経済」とは？
- 地域という単位で経済を見る
- 授業計画(第2回～第15回)
- 成績評価の方法
- 授業欠席時の出欠の取り扱い

はじめに①

基礎教育センターの井上智之（いのうえさとし）です。

これまで長年にわたり地域経済・産業の実態把握や活性化支援に携わってきました。

社会や経済が大きく変化するなかで、地域経済・産業が直面する課題や解決策も常に変化しています。

この授業では、いま必要とされる地域経済・産業の課題解決策、活性化策について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

はじめに②

第1回は、この授業の内容(進め方など)、学習到達目標、成績評価の方法などについて説明します。

なお、シラバス及びこの資料で説明する内容・順番を一部変更する場合がありますのでご注意ください(変更する場合はL-Camで通知します)。

お問い合わせは、電子メールでお知らせください。

【電子メールアドレス】 sinoue@aitech.ac.jp

「現代の経済」は他にも開講あり

■八草キャンパス

✓前期 水曜1限・2限 ふ こうそう先生

✓前・後期 金曜1限・2限 劉震(りゅうしん)先生

■自由ヶ丘キャンパス

✓前期 木曜3限・4限 酒井 愛先生

※同じ名称の科目は1つしか単位修得できない(重複履修不可)

◆その他の経済学関連の授業(専門教育科目)

■八草 経済基礎知識(情報科学部、経営学部)

■自由ヶ丘 マクロ経済学(必修)、ミクロ経済学、経済基礎知識

メール送信時のお願い

質問や欠席の連絡など、井上宛に電子メールを送信する場合、必ず次の5点を書いてください。

- ①「曜日」
- ②「時限」
- ③「科目名」・・・「現代の経済」「環境と地域共創」
「ものづくり文化」「創造と倫理」
↑ 井上の担当科目
- ④「学籍番号」
- ⑤「氏名」

授業の概要

この授業では、地域経済・産業についての実態把握の方法と活性化策について、具体的な事例を交えながら学びます。

主に次の4点について説明します。

1. 日本全体ではなく、地域という単位で経済を見ることの大切さ
2. 統計資料を用いて地域経済・産業の実態を把握する方法
3. 地域経済・産業の活性化に効果的な取組の事例
4. 地域経済・産業の活性化に寄与する行政の施策

➤3と4では、SDGs(Sustainable Development Goals[持続可能な開発目標])に関連する取組も取り上げる。

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SDGsとは

- 持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。
- 2015年9月の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ（下記URL参照）」の中で掲げられました。
- 2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/000101402.pdf>

副専攻の分野	区分	授業科目名	単位数	電気工学専攻	電子情報工学専攻	応用化学専攻	バイオ環境化学専攻	機械工学専攻	機械創造工学専攻	土木工学専攻	都市デザイン専攻	建築学専攻	住居デザイン専攻	経営情報システム専攻	スポーツマネジメント専攻	コンピュータシステム専攻	メディア情報専攻
SDGs とものづくり	総合教育科目	ものづくり文化	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合教育科目	ものづくり文化実習	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合教育科目	創造と倫理	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合教育科目	環境と地域共創	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合教育科目	科学技術と自然と人間	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合教育科目	現代の経済	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ここから
6単位以上

学習の到達目標

1. 人口や事業所・企業に関する統計及び「地域経済分析システム:RESAS」を用いて、特定の地域における人口動態や産業構造を把握できる。
2. 地域経済・産業活性化に効果的な取組について理解し、説明できる。
3. 地域経済・産業活性化に寄与する行政の主な施策について理解し、説明できる。

授業の方法と特徴①

1. パワーポイントを用いて講義形式で行う。

- ✓毎回の授業が始まるまでに、講義資料を「Moodle」に掲載する。
- ✓受講生の確定後（第3回抽選終了後）、こちらで皆さんをMoodleに登録してから運用を開始します。
- ✓教室では講義資料の印刷物を配布しませんので、必要に応じて、印刷またはPCやスマートフォンで参照してください。
- ✓最終回の定期試験は、講義資料の持ち込みが可能です。必要に応じて、印刷して受験してください。

授業の方法と特徴②

2. 数回、授業時間内に課題の提出を求める。

✓ Microsoft Formsを使用。インターネットに接続できる機器(ノートPC、スマホ等)の持参が必要。

✓ 欠席する場合(公認欠席等)、授業開始前にメールで連絡をした場合のみ、課題の提出を受け付ける。

✓ 事前連絡のない欠席者が課題を提出した場合(講師が提出を認めていない)は不正行為と見なす(失[Q評価]の対象)。

授業の方法と特徴③

3. 宿題の課題が2回ある。パワーポイント形式での提出を求め、後日、学生数名によるプレゼンテーションを行う。発表者は当日指名する。
4. 第2回以降は「全席指定」とする。受講生が確定次第、座席表をMoodleに掲載する。指定席への着席の有無で出欠を確認する。遅刻・途中での離席は「欠席扱い」となる場合がある。

「経済」とは？

『広辞苑』（岩波書店）

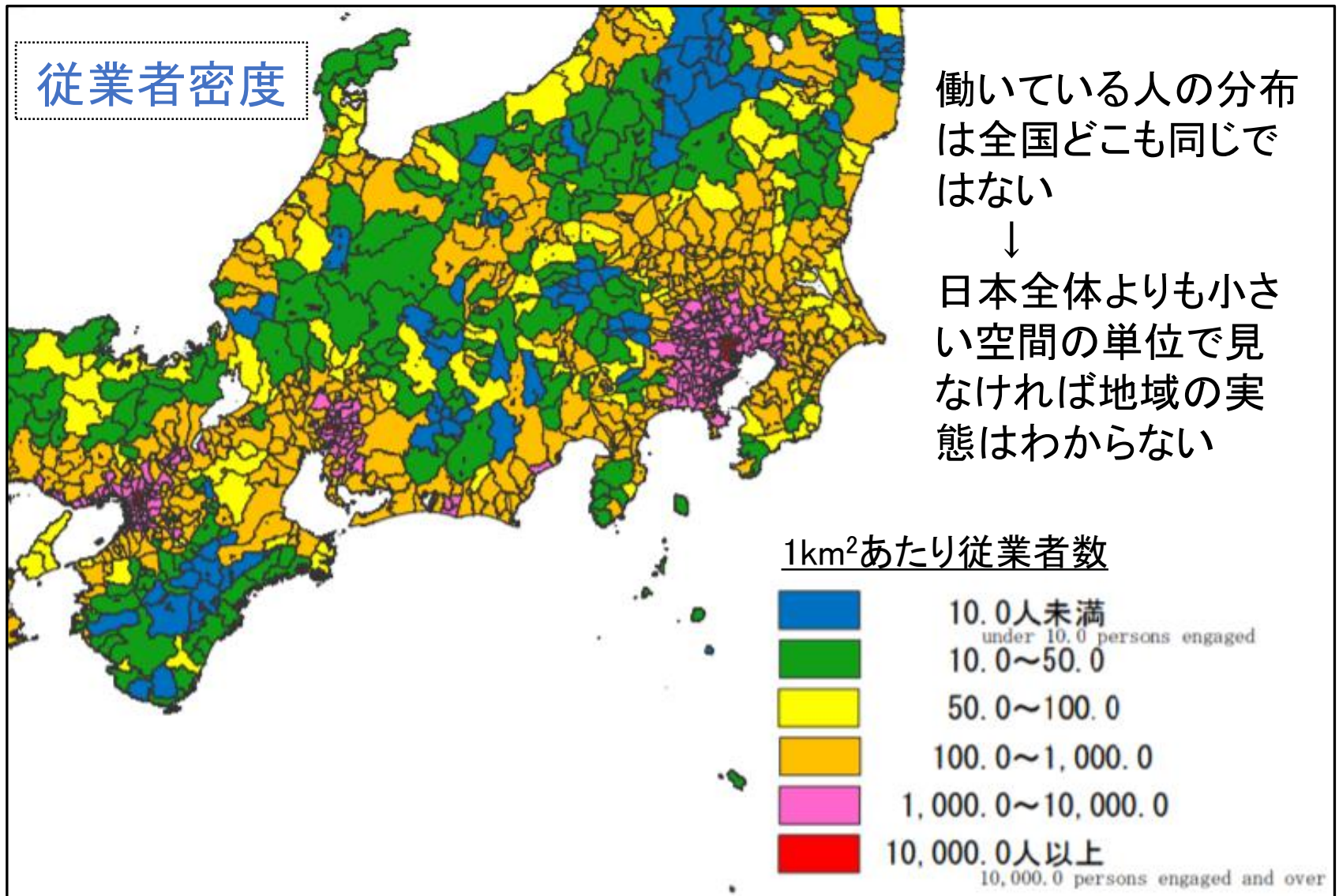
- 国を治め人民を救うこと。経国済民。政治。
 - 人間の共同生活の基礎をなす財・サービスの生産・分配・消費の行為・過程、ならびにそれを通じて形成される人と人との社会関係の総体。転じて、金銭のやりくり。
 - 費用・手間のかからないこと。儉約。
-

「生産」(供給)・・・ものづくり、サービス提供など

「分配」・・・・・・会社の利益、従業員の賃金など

「消費」(支出)・・・個人の消費、会社の投資など

地域という単位で経済を見る①



資料：総務省統計局「日本統計地図 平成28年経済センサス－活動調査」

地域という単位で経済を見る②

様々な空間の単位で統計を見ることができる

広

- 全国（日本全体）
- 地方（中部地方など）
- 都道府県（愛知県など）
- 市区町村（豊田市、名古屋市千種区など）
- 町丁・字等（八草町、自由ヶ丘2丁目など）

狭

→ 目的によって空間の単位を使い分ける

授業計画 第2・3回

2. 人口・事業所に関する統計

国勢調査など人口に関する統計と経済センサスなど事業所に関する統計の概要について説明する。

→ ある地域における人口（年齢や世帯の構成など）、事業所数・従業者数（産業構成など）やそれらの変化（増加率など）がわかる

3. 地域経済分析システム（RESAS:リーサス）

経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）が提供しているRESASの概要を説明する。

→ ある地域における人口動態や産業構造などがわかる（図で見える化） <https://resas.go.jp/>

授業計画② 第4～6回

4. 基盤産業・非基盤産業

基盤産業・非基盤産業と特化係数について説明する。

5. 課題の説明(1)

「地域経済分析システム:RESAS」を用いて、ある地域における人口動態や産業構造を調べてパワーポイントにとりまとめる課題について説明する(各自の対象地域は抽選で決める)。

6. 地域経済・産業活性化の取組(1)

地域資源を活用した取組について説明する。

授業計画③ 第7～9回

7. 地域経済・産業活性化の取組(2)

地域における脱炭素の取組について説明する。
総合技術研究所の近藤元博教授による講義。

8. 地域経済・産業活性化の取組(3)

商店街におけるバル、まちゼミ、100円商店街の取組について説明する。

9. 課題の発表(1) プレゼンテーション

第5回で提出を求めた課題について、学生数名がプレゼンテーションを行う(発表者は当日指名する)。

授業計画④ 第10・11回

10.課題の説明(2)

地域経済・産業の活性化に効果的な取組の事例を調べて、取組のきっかけ、目的、内容、成果などをパワーポイントにとりまとめる課題について説明する(各自の対象地域は抽選で決める)。

11.地域経済・産業活性化の取組(4)

創業を促進する取組について説明する。

授業計画⑤ 第12～15回

12.地域経済・産業活性化の取組(5)

製造業における新技術・新製品開発の取組について説明する。

13.地域経済・産業活性化に寄与する行政の施策

行政の主な産業支援施策について説明する。

14.課題の発表 プレゼンテーション

第10回で提出を求めた課題について、学生数名がプレゼンテーションを行う(発表者は当日指名する)。

15.まとめ及び定期試験

成績評価の方法

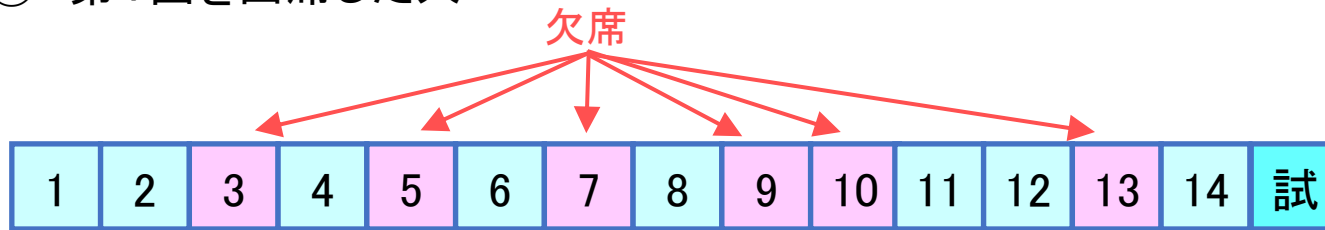
- 提出課題及び定期試験による総合評価を行う。
- 成績評価の配分は提出課題40%（パワーポイント10%×2回、その他20%）、定期試験60%とする。
- 課題については、後日、模範解答を提示する。
※課題等の採点結果・得点は個別には通知しない
- 授業中、講師からの質問に回答した者に得点を補填する。
- 次のいずれかに該当する場合「失（Q評価）」となる。
 1. 欠席回数が授業回数の1/3を超える
⇒ 詳しくは後述「授業欠席時の出欠の取り扱い」参照
 2. 定期試験欠席
 3. 欠席者のレポート提出（講師が提出を認めていない場合）

授業欠席時の出欠の取り扱い

※今後、変更が生じた場合は改めてお知らせします。

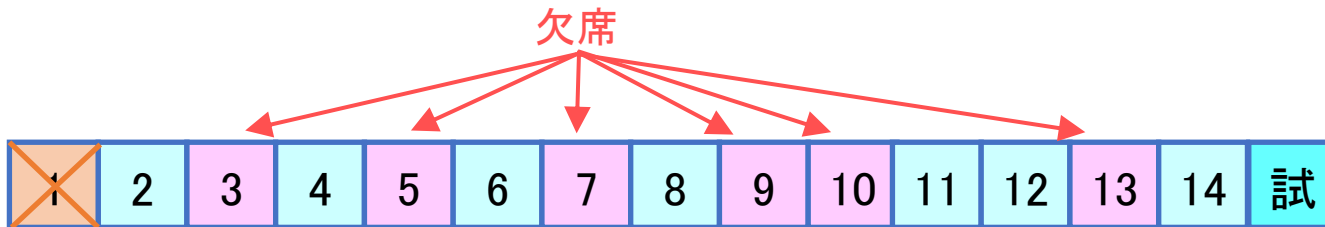
1 シラバス「成績評価の方法」に記載の「欠席回数が授業回数の1/3を超える(失[Q評価])」とは？

① 第1回を出席した人



第2回以降に6回欠席すると、授業回数(15回)の1/3を超える ⇒ 失(Q評価)

② 第1回を欠席した人(履修登録していなかった人を含む)



第1回はMoodle掲載資料(この資料)を確認することで「出席」扱いとする
第2回以降に6回欠席すると、授業回数(15回)の1/3を超える ⇒ 失(Q評価)

【注意】 出席・欠席回数の照会は受け付けない。

2 欠席時の出欠の取り扱い

学生便覧2024 P10

①公認欠席 ★すべての授業で共通の取り扱い(「1」の欠席数に含めない)

以下の理由で授業を欠席した場合は、「欠席届」に書類を添付の上、担当窓口(自由ヶ丘キャンパスは事務室)へ届け出て承認を得た後、当該授業の担当教員に提出して下さい。

※「欠席届」は、L-Cam(PC版)の「キャンパスライフ>学内共有ファイル」ページから取得できます。

事 由		取 扱 期 間	担 当	添 付 書 類
忌引き	父、母、配偶者、子	連続した7日以内	教務 グループ	「会葬通知」、「会葬御礼」など、日付が記載されたもの(コピー可)。
	曾祖父母、祖父母、兄弟姉妹、おじ、おば、甥、姪	連続した3日以内		
教育実習		実習先が指定した期間	教務 グループ	(不要)
自然災害等(風水害)		罹災内容による	学生サービス グループ	地方公共団体が交付する「罹災証明書」等
学校保健安全法施行規則第18条に定められた学校感染症(インフルエンザ(H5N1を除く)、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、風疹、水痘(水ぼうそう)、咽頭結膜熱(プール熱)、新型コロナウイルス感染症、結核、髄膜炎菌性髄膜炎)にかかり、大学が出席停止とした場合		出席停止期間	学生サービス グループ	医療機関が発行する診断書 ※治療期間や安静期間、入院期間等が明記されていること

②公認欠席以外の配慮

★②は授業(教員)によって出欠の取り扱いが異なる
この授業では、表の提示書類により、欠席数には含めない

以下の理由で授業を欠席した場合は、提示書類を準備し、当該授業の担当教員に提示して下さい。
ただし、配慮を申し出るものであり、出欠の取り扱いについては授業担当教員に一任されています。

事 由	提 示 書 類
病気・怪我	医療機関が発行する診断書 ※治療期間や安静期間、入院期間等が明記されていること
交通事故	自動車安全運転センターが交付する「交通事故証明書」
公共交通機関の運行休止 または遅延	鉄道会社発行の「遅延証明書」
対外試合などのクラブ活動	学生サービスグループへ届出し承認を得た「クラブ活動届」のコピー
就職試験(最終試験のみ)	受験を証明できる書類(案内文書等)または試験担当者作成の証明書
インターンシップ(本学が単 位認定するものに限る)	インターンシップを証明できる書類
学会における発表等	卒研指導教員作成の証明書
居住地または通学経路で避 難指示が発令された場合	避難指示内容が確認できる書類のコピー
裁判員候補に選出された 場合	選任手続き期日のお知らせ(呼出状)のコピー

※領収証はNG

③その他

★③に該当する場合は、井上に連絡する(個別に出欠の取り扱いを決定)

- ・上記以外の事由で授業を欠席した場合は、チューターまたは指導教員へ相談すること。
- ・2週間以上授業を欠席する場合は、チューターまたは指導教員へ相談すること。